



髹水刷毛

どうさばけ

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z
数字



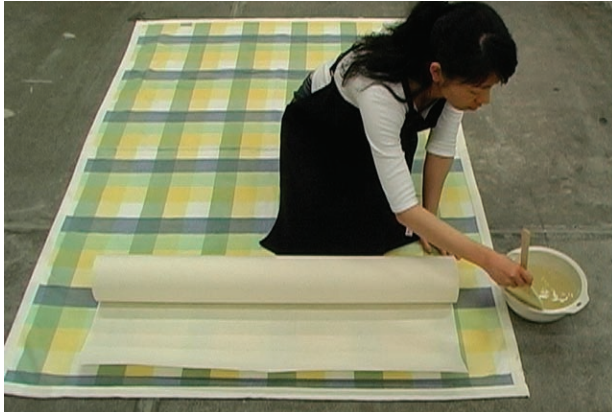
概要

髹水刷毛（どうさばけ）は、日本画の準備・制作において髹水液（どうさえき）を塗布する際に用いる刷毛です。主に支持体である和紙や絵絹のにじみ止めを目的とした髹水を引くこと（髹水引き）や箔押しの際に利用します。髹水刷毛の幅は一寸（約3cm）から七寸（約21cm）程度のものまであります。毛は含みが良く柔らかな純羊毛製、柄は白木製に縁の部分は耐水用塗料のラッカー仕上げをしてあるものが一般的です。このラッカー仕上げは明髹（みょうばん）を湯で洗い流す作業で柄の割れを防ぎます。ちなみに良い刷毛の条件は、液の含みや下り（おり）が良く、たっぷりと液を含ませて塗った時に毛先が割れずムラなく塗れることです。

髹水引きする際は、刷毛のかすれや液の溜りがでないように、髹水液を均等な濃度で塗ります。刷毛にたっぷり液を含ませて、塗り始めは刷毛を寝かせた状態で持ち、ゆっくりと横に動かしながら徐々に刷毛を起こします。そうすることで液の下りを一定にすることができます。刷毛跡は重なる部分が多くなく、また隙間ができないようにします。このとき髹水液にムラがあると、絵具がにじみ、均一な発色が得られない場合があるので気をつけましょう。金箔や銀箔などの箔押しの際は、髹水液または膠液（にかわえき）が箔を画面に定着する役割をします。また箔を押しした上に髹水液を引くことで絵具の定着を良くし、銀箔、銀泥の酸化を防ぎます。

取り扱いの注意として、日本画の刷毛には用途により様々な種類があり、髹水刷毛のほかに、水刷毛（みずばけ）、絵刷毛（えばけ）、唐刷毛（からばけ）などがあります。使用したこれらの刷毛の毛には異なる成分や絵具が付着しているため、必ず使い分けましょう。髹水液に含まれる明髹は、絵具をはじく性質があり、刷毛を共用すると絵具ののりが悪くなります。また、髹水刷毛は使い込むうちに、髹水液に含まれる明髹の影響で毛が劣化し、毛先が割れる恐れがあります。使用後は水で洗い、さらにぬるま湯でよく洗って髹水液の成分を完全に除去し、水分を切って、直射日光の当たらない風通しの良い場所に吊るして乾かしましょう。髹水刷毛は、日本画の用具や材料を取り扱う画材店で購入できます。

礬水引き



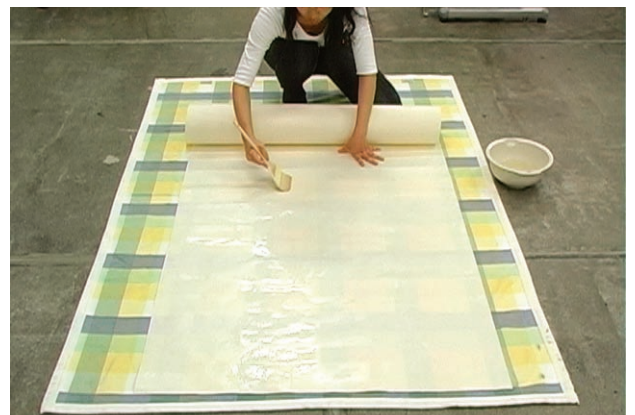
手順1. 礬水液と礬水刷毛を用意し、和紙は毛氈（もうせん）や毛布などの上に敷きます。



手順4. 和紙が完全に乾いたら裏側に返します。大きい和紙の場合は巻いて、表面の時と同様に端から一定方向に引いていきます。



手順2. まず和紙の表面の端から一定方向に引いていきます。



手順5. 裏面も引き終わったらよく乾燥させ、その後、再び表面に引きます。（表面→裏面→表面の順で引きます。）



手順3. 礬水液を和紙にたっぷり含ませるように引きましょう。このとき、あまり刷毛を紙に押しつけないように注意しましょう。引き終わったら、和紙をよく乾かします。